

【3月例会 理事長挨拶】

3月例会

日時:2016年3月11日(金)

会場:ホテルニューグランド ペリー来航の間

テーマ:創発×発信

皆様こんばんは

本日は3月例会によこそお集まり頂きまして有難うございます。

また、来訪JCの皆様、歴代理事長をはじめとする多くの先輩方にお集まり頂きまして誠に有難うございます。

高い席からでは御座いますが御礼申しあげます。

また、本日は2016年度入会予定のゲストの皆様にもお越し頂いております。

横浜青年会議所の例会によこそお越し頂きました。本日はカリキュラムの一つでは御座いますが最後までご参加頂きまして何かしらの学びがあると思いますのでお持ち帰り頂ければと思います。

さて、先週の土曜日になりますが、神戸の地にて神戸青年会議所、横浜青年会議所の定例会議が開催されました。

横浜青年会議所からは理事者を含め46名のメンバーでご参加をさせて頂きました。

担当して頂きました辰野室長、そして小島委員長を始めと致します日本JC関係委員会のメンバーの皆様本当に有難う御座いました。

翌日ホテルのロビーで待っており参加頂いたメンバーとご挨拶させて頂いたのですが、皆様のお顔を拝見致しますと神戸JCのメンバーと充実した交流が出来たと感じました。

今回は神戸JCのメンバーの皆様がおもてなしをして下さいました。

私たちは公益社団法人日本青年会議所が主催致しますサマーコンファレンスを横浜の地で開催させて頂いております。今度は私たちがおもてなしをする番です。

公益社団法人日本青年会議所の運動発信を最大限に出来る様な下支えをさせて頂く場であります。今回、神戸に参加させて頂いて身の引き締まる思いであります。

参加して頂きましたメンバーの皆様は参加出来なかった委員会メンバーへ経験した事をしっかりとお伝え頂きたいと思います。

また一昨日ですが、公益社団法人日本青年会議所関東地区神奈川ブロック協議会ブロック会長公式訪問としまして、武藤会長が横浜の地へお越し頂きました。

今年度は横浜青年会議所・川崎青年会議所・大和青年会議所の3LOM合同で行われました。横浜で開催された事もあり、横浜青年会議所の多くのメンバーにご参加頂きました。

全国各地同じですが、入会3年未満のメンバーが過半数を超える状況にあります。今回、横浜JCでも昨年入会されたメンバーや一昨年入会したメンバーに多く参加して頂きました。

この様な他の青年会議所と一緒に活動出来る、交流出来る機会を活用して頂きたいと思います。

日本青年会議所の事業や神奈川ブロック協議会の事業も積極的にご参加頂ければと思います。

本日は東日本大震災が発災して5年が経過した日であり、冒頭に黙祷をさせて頂きました。2011年3月11日金曜日は横浜青年会議所が例会を開催させて頂く予定の日で御座いました。場所は「はまぎんホール」で御座いました。

横浜青年会議所が設立して65年間例会が中止された日は無かったのですが、震災の為中止となりました。

皆様は、その時にどの様な事を感じたか覚えておりますでしょうか。

私は日本青年会議所に出向させて頂いており、丁度会社に戻った時でした。今まで経験した事無い様な地震でした。私が社会人として初めて入社した会社が岩手県の一関市に工場がありまして、気仙沼にとても近い場所にありました。まず初めにその会社の方々がどういう状況なのか、大丈夫なのだろうかと感じた事を覚えております。皆様も何かしらその日に感じた思いがあると思います。連日流れるニュースは東日本大震災に関連するニュースばかりであり、人的被害や、福島第一原発の事故ばかりであったと思います。インターネットで海外の報道を見ると日本で報道されている事とは少し異なり、違った視点で物事を捉えていました。これは東日本大震災に関わる事だけでは無ありません。インターネットは自分達が欲しい情報を簡単に引き出せる時代になりました。これは皆様が考えるという事が少し失われたのかもしれません。インターネットから引き出す情報が正しい情報と錯覚している事も皆様経験した事があるのではないでしょうか。本日開催させて頂きます例会は野路委員長率いる情報戦略委員会に行って頂きますが、今回のテーマは「創発×発信」というテーマで情報の発信・視点、と観点とさせて頂きました。

私たちが情報を発信する前に引き出す情報をいかに自分の力で精査する力をつけるか。理事長所信にも記載させて頂きましたが、リテラシーと呼ばれ情報精査能力と解釈して頂ければと思います。

今日の例会は第一部にまず「ザ・コーヴ」という映画のダイジェスト版を見て頂き、第二部に映画監督の佐々木芽生様にご講演を頂きます。そして第三部で佐々木芽生様と私でトークセッションをさせて頂く様な構成となります。私たちは必ずしも情報を得るだけでは無いのです。青年会議所は活動を通して運動を発信していく団体ですので時と場合によっては情報を発信する立場になる事を考えて頂かなければなりません。先ほどリテラシーのお話をさせて頂きましたが、受動的な物だけでなく時には発信する立場になる事も私たちの役割だと思います。今日、私たちが例会を通して感じて頂く事が多々あると思います。委員会や会社、家庭に持ち帰って頂いて自分自身に活かして頂ける機会になる様、本日の例会も宜しくお願ひ致します。